地下浸透方式に関する申告書

設置者名（　　　　　　　　　　　　　印）

　１　放流できない理由

　　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

２　処理装置は、隣地境界線から３ｍ以上離れています。

３　浸透部分は、井戸その他の水源から水平距離で３０ｍ以上離れ、かつこれらを汚染するおそれはありません。

４　浸透部分は、地下水位が地表面より１．５ｍ以上深いところにあります。

５　処理装置の構造

（１）浸透面積の計算書

別紙のとおり

（２）　構造図及び平面図

別紙図面のとおり

添付１

地下浸透方式に関する調査票

１．処理装置は隣地境界から概ね（　　　　ｍ）離れている。

【基準は、３ｍ以上】

２．井戸、その他の水源から水平距離で（ 　　　　ｍ）離れている。

【基準は、３０ｍ以上】

３．地下水位が地表面から１．５ｍ以上深いところに（ 　ある 　・ 　ない ）

（上記１・２については、図面に明示すること。）

調 査 結 果

※土質が粘性の場合にあっては、10mm

　　　　　　 30　　　　　　30

浸透速度＝　　　　　　　　＝　　　　＝（　　　　）

※30mm降下する　（　　）

のに要する時間（a）

　　　　　　　　25　　　　　　25

浸透時間＝　　　　　　　　＝ 　=（　　　　）

（b）　　　　浸透速度　　　 （　　）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 孔 | 30mm降下するのに要する時間 |
| 実　測　値 | 1 | 分 |
| 2 |  |
| 3 |  |
| 4 |  |
| 5 |  |
| 6 |  |
| 平均値 | a |  |

土壌の浸透時間（ｂ）と表１から次のとおり必要な浸透面積を積算する

浸透面積＝設置する浄化槽の人槽×一人当たりの浸透面積（表１より）

表1＞　　処理対象人員一人当たりの地下浸透面積

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 土壌の浸透時間（分） | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 10 | 15 | 30 | 45 | 60 |
| 一人当たりの浸透面積（㎡） | 6.0 | 8.0 | 10.0 | 12.0 | 14.0 | 28.0 | 36.0 | 44.0 | 60.0 | 66.0 |